

参考：県内7都市計画区域マ

スタープラン用語集

(令和4年11月)

A～Z

ICT (アイ・シー・ティー)

インフォメーション アンド コミュニケーション
Information and Communication
テクノロジー
Technologyの略。情報や通信に関する技術の総称。

IoT (アイ・オー・ティー)

インターネット オブ シングス
Internet of Thingsの略。あらゆるモノをインターネット（あるいはネットワーク）に接続する技術。

MaaS (マース)

モビリティ アズ ア サービス
Mobility as a Serviceの略。地域住民や旅行者一人ひとりの移動のニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせ、一つのサービスとして捉える次世代の交通サービスのこと。

MICE (マイス)

企業等の会議 (ミーティング Meeting)、企業等の報奨・研修旅行 (インセンティブ トラベル Incentive travel)、国際機関等が行う国際会議 (コンベンション Convention)、イベントや展示会等 (イベント エキシビション Event/Exhibition)を総称したもの。

MRO (エム・アール・オー)

メンテナンス リペア オーバーホール
Maintenance, Repair & Overhaulの略。整備、修理、分解点検のこと。

NPO (エヌ・ピー・オー)

ノン プロフィット オーガニゼーション
Non-Profit Organizationの略。非営利組織のこと。

PDCA サイクル

(ピー・ディー・シー・エーサイクル)

マネジメント手法のひとつで、「計画 (Plan)、実施 (Do)、評価 (Check)、反映 (Action)」の流れを次の計画に活かしていくプロセスのこと。

PPP/PFI

(ピー・ピー・ピー/ピー・エフ・アイ)

パブリック プライベート パートナーシップ
Public Private Partnership(公民連携) / プライベート ファイナンス イニシアティブ
Private Finance Initiative(民間主導公共サービス)の略。公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力、技術的能力を活用して行う官民連携の手法のひとつ。

society5.0 (ソサエティ 5.0)

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会を指す。

TDM (ティー・ディー・エム)

交通需要マネジメントの頭文字 トランスポーターション デマンド マネジメント
(Transportation Demand Management)をとったもので、自動車利用者の交通行動の変更を促すことにより、都市や地域レベルの交通渋滞等、様々な交通問題を改善するための手法のことを指す。

あ行

アジア・ゲートウェイ構想

アジアなど海外の成長や活力を取り込むため、人・モノ・資金・文化・情報の流れにおいて、日本がアジアと世界の架け橋となることを目指すもの。

アジアのダイナミズム

アジアでは、幾重にも重なる成長が見られる。一国ではなく、低賃金の他の国へと伝播して発展の波が幾重にも重なって展開されており、この発展の高まりと拡大のことを指す。

ウェルネス [wellness]

健康。特に、単なる身体的な健康だけでなく、精神的・情緒的など生活のすべての面で健康である状態。また、そういう状態の実現をめざす実践的な生活行動。

ウォークアブルな人中心の空間

居心地が良く歩きたくなる人中心の空間のこと。

ウォーターフロント [water front]

水辺、水際の空間。特に都市生活者のうるおい空間として整備されたものを指すことが多い。

うむやす

「安心できる」を意味する宮古地域の言葉。

エコアイランド

再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの推進等により、宮古島市が目指す先進的な環境モデル地域のこと。

エコツーリズム [ecotourism]

地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につなげていくことを目指していく仕組み。

オーバーツーリズム

特定の観光地において、訪問客の著しい増加等が、市民生活や自然環境、景観等に対する負の影響を受忍できない程度にもたらしたり、旅行者にとっても満足度を大幅に低下させたりするような観光の状況のこと。

オープンスペース [open space]

公園・広場・河川・農地など、建物によって覆われていない土地、あるいは敷地内の空気を総称している。

おーりとーり

「いらっしやいませ」を意味する八重山地域の言葉。

沖縄 I T 津梁パーク

アジアと我が国の架け橋（津梁）となる新たな情報通信産業の一大拠点の形成を目指し、うるま市に整備したソフトウェアパークのこと。

沖縄科学技術大学院大学

国際的に卓越した科学技術に関する教育及び研究を実施することを目的に設立された5年一貫制の博士課程のみを置く国立大学院大学。

英語表記 (Okinawa Institute of Science and Technology Graduate University) を略して OIST (オイスト) とも呼ばれる。

沖縄都市モノレール

平成15年に開業し、令和元年に延長した那覇市字鏡水（那覇空港駅）－浦添市前田（てだこ浦西駅）を19駅で結ぶ約17.1kmの路線。愛称は「ゆいレール」。

沖縄 21 世紀ビジョン

県民の参画と協働のもとに、将来（概ね2030年）のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた取り組みの方向性と、県民や行政の役割などを明らかにするために平成22年3月に作成された基本構想。

か行

河川整備率

5年から10年に一度程度発生する規模の降雨について、河川における洪水の氾濫の防御が必要な区域に対し、防御されている区域の割合。

環境共生型住宅

地球温暖化防止等の地球環境保全を促進する観点から、地域の特性に応じ、エネルギー・資源・廃棄物等の面で適切な配慮がなされるとともに、周辺環境と調

和し、健康で快適に生活できるよう工夫された住宅及び住環境のこと。

幹線道路

都市内におけるまとまった交通を受け持つとともに都市の骨格を形成する道路。

がんずう

「健康」「丈夫」を意味する宮古地域の言葉。

基幹バスシステム

バス専用レーンの導入や乗降性に優れた車両の導入等により、高い輸送力、走行性、快適性を備えた新たな交通システムのこと。

既成市街地

一般には、都市において、道路が整備され建物が連たんするなど、既に市街地が形成されている地域。都市計画法においては、人口密度が1haあたり40人以上の地区が連たんして3000人以上となっている地域とこれに接続する市街地をいう。

既存ストック

ストックとは「在庫」を意味する。今まで整備されてきた道路、公園、下水道などの都市施設や、住宅、商業施設、業務施設、工業施設などのこと。

緊急輸送道路

地震防災対策特別措置法に基づき指定された、災害時に避難や救急・消火活動、緊急輸送などに円滑に行うための高速自動車道、一般国道及びこれらを連結する幹線道路と知事が指定する防災拠点を相互に連絡する道路のこと。

区域区分

都市計画法第7条に基づき定められる、無秩序な市街化を防止し、計画的に市街化を図るために、都市計画区域を市街化区域と市街化調整区域とに区分する制度のこと。

グリーンインフラ

米国で発案された社会資本整備手法で、自然環境が有する多様な機能をインフラ整備に活用するという考え方のこと。

クリーンエネルギー [clean energy]

環境への負荷がより少ないエネルギーのことをいう。

グリーン・ツーリズム [green tourism]

緑豊かな農村地域において、その自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。

景観計画

景観法第8条に基づき景観行政団体が定める、良好な景観の形成に関する計画。

下水道

下水（汚水又は雨水）を排除するために設けられる排水管、排水渠その他の排水施設（かんがい排水施設を除く。）及びこれに接続して下水を処理するためにもうけられる処理施設（し尿浄化槽を除く。）又はこれらの施設を補完するためにもうけられるポンプ施設その他の施設の総体のこと。

減災

災害後の対応よりも事前の対応を重視し、できることから計画的に取り組んで、少しでも被害の軽減をはかるようにすること。

航空関連産業クラスター

航空機整備を中心に航空関連産業が集積し、相互に連携・協力することを通じて新たな付加価値や技術革新（イノベーション）を創出する状態を指す。

高次都市機能

都市機能のうち、日常生活圏域を超えた広域圏を対象とする施設などにより、多くの人々に教育、文化、医療、行政、産業、交通、情報等について質の高いサービスを提供できる機能のこと。

高度部材産業

自動車や家電をはじめとした工業製品に必要とされる、半導体部品や金属素材の成形加工等、高度な技術を要する部品・素材等の提供を行う産業のこと。

コースタルリゾート [coastal resort]

多様なレクリエーションニーズに応え
るとともに、地域振興に資するマリナー
等を中心とした海洋性レクリエーション
の拠点となる沿岸域のこと。

国際交流・貢献拠点

アジア・太平洋地域の平和と持続的発
展への貢献を目指し、学術、文化、平和、
人材育成などの幅広い分野における国際
交流や貢献活動の拠点。

国際物流拠点産業集積地域

沖縄振興特別措置法第 41 条において
規定されており、沖縄における産業及び
貿易の振興に資するため必要とされる地
域のこと。

高付加価値型のものづくり企業やリペ
アセンター等の国際物流拠点産業の集積
を図り、沖縄における民間主導の自立型
経済の構築を目的としている。

国際物流ハブ

拠点（ハブ）としての輸送機能を活用
して、物の輸送・保管・荷役・包装・流
通加工などの国際間の物流を効率的に行
う機能を指す。

コミュニティバス [community bus]

既存バス路線ではカバーしきれしてい
ない交通空白地域等、利用者のニーズに
対する乗合バスのこと。

コンパクト・プラス・ネットワーク

人口減少・高齢化が進むなか、特に地
方都市においては、地域の活力を維持す

るとともに、医療・福祉・商業等の生活
機能を確保し、高齢者が安心して暮らせ
るよう、地域公共交通と連携したコンパ
クトなまちづくりのこと。

さ行

再生可能エネルギー

資源として限りのある石油・石炭等の
化石燃料と対比して、自然の中で繰り返
し起こる現象からつくり出される、風力、
太陽エネルギー、地熱、水力、バイオマ
ス、波力等のエネルギーのこと。

シー・アンド・エア

海上輸送と航空輸送とを組み合わせた
輸送サービス。

シーニックバイウェイ

「風景のよい道路」の意。主に、自
動車が走行する道路上の視点から、景
観や自然、地域の特性などを利用して、
観光や地域活性化を目的とする道路や
政策のこと。

シームレスな交通体系

「継ぎ目のない」の意味。公共交通分
野におけるシームレス化とは、乗継ぎ等
の交通機関間の「継ぎ目」や交通ターミ
ナル内の歩行や乗降に際しての「継ぎ目」
をハード・ソフト両面にわたって解消す
ることにより、出発地から目的地までの
移動を全体として円滑かつ利便性の高い
交通体系とすること。

四箇字（しかあざ）

石垣市の登野城・大川・石垣・新川の四カ村の総称。他に「四箇」「四箇村」ともいう。

市街化区域・市街化調整区域

市街化区域は、都市計画区域のうち、市街地として積極的に開発・整備する区域で、既に市街地を形成している区域及びおおむね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域をいう。

これに対して、市街化を抑制する区域を市街化調整区域という。

市街地拡散

既成市街地周辺部や郊外部に散逸的に市街地が形成されること。

次世代自動車

窒素酸化物（NOx）や粒子状物質（PM）等の大気汚染物質の排出が少ない、または全く排出しない、燃費性能が優れているなどの環境にやさしい自動車のこと。

事前防災

災害の発生を想定した上で、それによる人的・経済的被害を軽減するために未然に対策を講じること。

持続可能な開発のための 2030 アジェンダ

2015 年に国連総会で採択された目標で、グローバル経済下において、地球規模で人やモノ、資本が移動しており、一国の経済危機が他国へと瞬時に連鎖すると同様、気候変動、自然災害、感染症と

いった地球規模の課題がグローバルに連鎖して発生し、経済成長や社会問題にも波及して、深刻な影響を及ぼす状況を踏まえ、先進国と開発途上国が共に取り組むべき、国際社会の普遍的な目標のことを指す。

持続可能な開発目標（SDGs）

世界全体の経済、社会及び環境の三側面を不可分のものとして調和させる統合的取組を目指し、誰一人として取り残さないを基本理念とし、17 のゴールと 169 のターゲットで構成された目標。

英語表記（^{サステナブル}Sustainable：持続的 ^{デベロップメント}Development：開発 ^{ゴールズ}Goals：目標）を略して SDGs と呼ばれる。

市町村の都市計画に関する基本的な方針（市町村マスタープラン）

都市計画法第 18 条の 2 に基づき、市町村が創意工夫のもと住民意見を反映させ、まちづくりの将来ビジョンを確立し、地域ごとの将来像などを定める方針のこと。市町村が定める都市計画は、この方針に即しなければならない。

社会資本

道路や公園、下水道、教育施設等の公的基盤施設。

社会的包摂

（ソーシャルインクルージョン）

国民一人ひとりが社会に参加し、潜在能力を発揮できる環境を整備するため、社会的排除の構造と要因を克服する一連の政策的な対応のこと。

住区基幹公園

比較的小規模な公園を指し、都市計画で位置づけられた、街区公園、近隣公園及び地区公園が含まれる。

住民参加

都市計画・まちづくりにおける住民参加とは、目標設定・計画策定・事業実施の各プロセスにおいて、地域住民が意思を反映させ、また計画の作成・決定・実施へ参画していく状態・仕組みをいう。

集約型都市構造

少子・超高齢社会の到来、環境負荷の高まり、中心市街地の一層の衰退、都市財政の圧迫、公共交通の地位低下等が顕著化されつつある社会に対応するための歩いて暮らせる環境負荷低減型のコンパクトなまちの形態のこと。

周遊型観光

複数の観光地を滞在先を変えながら巡る観光形態のこと。

循環型社会

廃棄物の発生を抑制し、資源の循環的利用及び適正な処分が確保されることによって、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷が低減される社会のこと。

情報通信産業振興地域

沖縄振興特別措置法第 28 条に基づき定められる、情報通信関連産業の振興を図ることを目的とした地域のこと。電気通信、ソフトウェア事業者等に対する、地域内での設備投資に係る投資税額控除

等の優遇措置を内容とする。

情報通信産業特別地区

沖縄振興特別措置法第 28 条に基づき定められる、情報通信関連産業の集積の牽引力となる特定情報通信事業者（データセンター事業者、インターネット接続事業者等）の集積を促進することを目的とした地区のこと。データセンター事業者等に対する、法人税課税所得の特別控除等の優遇措置を内容とする。

静脈物流

消費者ら排出された廃棄物を回収・再資源化するための物流あるいはそのようなシステムのことをいう。

人口集中地区 (DID)

デンスリイ インハビテッド ディストリクト
Densely Inhabited Districtの略。国勢調査の集計のための設定される統計地域で、人口密度が 40 人/ha 以上の国勢調査の調査区が集合し、合計人口が 5,000 人以上となる地域のこと。

森林ツーリズム

森林・林業と密接に関わり形成されてきた山村地域固有の自然・文化・歴史等の資源を、適切な管理に基づく保全対策を講じつつ、持続可能な形で活用することで、地域資源の保全と観光業による利用を両立させ、山村地域の振興をめざす自然体験型の観光の考え方。

スプロール [sprawl]

市街地が無計画に郊外に拡大し、虫食い状の無秩序な市街地を形成すること。

スポーツアイランド

沖縄の特性を生かしたスポーツ振興のコンセプト。①県民が健康・長寿であるため生涯を通してスポーツに親しめること、②国内外で活躍するトップアスリートを輩出すること、③我が国、南端のスポーツ交流拠点として年間を通したスポーツコンベンションが開催されていること、の3つが実現できている状態のこと。

スポーツコンベンション

[sports convention]

屋外競技から屋内競技といったスポーツ全般（障がい者競技も含む）におけるキャンプ、合宿、大会、イベント、試合、自主トレ等の総称。

スポーツ・ツーリズム

[sports tourism]

スポーツを「観る」「する」ための旅行そのものや周辺地域観光に加え、スポーツを「支える」人々との交流、あるいは生涯スポーツの観点からビジネスなどの多目的での旅行者に対し、旅行先の地域でも主体的にスポーツに親しむことのできる環境の整備、そしてMICE推進の要となる国際競技大会の招致・開催、合宿の招致も包含した、複合的でこれまでにない「豊かな旅行スタイルの創造」を目指すもの。

スマートシティ／スマートアイランド

新技術や官民各種のデータを活用した住民一人一人に寄り添ったサービスの提供や、各種分野におけるマネジメントの高度化等により、都市や地域が抱える諸

課題の解決を行い、また新たな価値を創出し続ける「持続可能な都市や地域」のこと。

スマートハウス

住宅内の情報を消費者のコントロール下で地域・社会と共有し、それらの情報を基にエネルギー等の需要・供給情報を活用して、賢くエネルギーが使用・制御される仕組みをもつ住宅のこと。

生活基盤

住宅、上下水道、水源施設、廃棄物処理施設、情報通信網、電力供給設備など、生活をする上で必要な基盤のこと。ライフラインと同義。

た行

体験・滞在型観光

沖縄の生活文化や農業、漁業、工芸等を実際に体験することを通じて、地域住民とのふれあいや都市と農村との交流を図ることなどを主な目的とした観光。

多核連携型都市

(多核連携型の国づくり)

新型コロナウイルス感染症の下での危機克服と新しい未来に向け、「新たな日常」構築の原動力となるデジタル化を見据えて、東京一極集中型から「脱東京一極集中」といった地域の躍動につながる産業・社会の活性化を目指した国の基本方針。

本計画では、県内の各拠点が相互に連携・交流する地域拠点ネットワーク型の都市圏の構築を図ることを指す。

多自然川づくり

河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うこと。

地域制緑地

農地や水辺などのオープンスペース、土地所有の状況（公共用地、民有地）にかかわらず、法や条例などにより、国、県、市町村が土地利用を規制、誘導して確保する緑地。

地域地区

都市計画法第8条に基づき定められる、都市計画区域内の土地をその利用目的によって区分し、建築物などについての必要な制限を課すことにより、地域又は地区を単位として一体的かつ合理的な土地利用を実現しようとする都市計画のこと。

地区計画

都市計画法第12条の5に基づき定められる、建築物の建築形態、公共施設等の配置などから、それぞれの地区の特性にふさわしい良好な環境を整備、保全するために定められる地区レベルのきめ細かな計画のこと。

知的・産業クラスター

様々な施策を通じて産学官が連携することにより、そこから生み出される研究成果等を活用して新事業・新産業を創出すること。

津波災害警戒区域

津波防災地域づくりに関する法律（津波法）第53条第1項の規定に基づき、最大クラスの津波に対して津波被害を防止するため、警戒避難体制の整備を行うことにより、住民等が平常時には通常の日常生活や経済社会活動を営みつつ、いざというときには津波から「逃げる」ことができるよう知事が指定する区域のこと。

ツンマーゼー

集落の主要な出入口に設けられた石積みみの台のこと。

低炭素都市づくり

地球温暖化問題に対応するため、住宅の環境性能向上などの単体対策のみならず、市街地の拡散を抑制し、公共交通活用などの交通対策と組み合わせて集約的な都市構造に誘導すること、建物の更新を面的に推進し併せてエネルギー利用の効率化や未利用・再生可能エネルギーの活用を図ること、或いは吸収源となる緑地の保全と都市緑化を推進することなどの総合的な都市分野の対策を指す。

低・未利用地

建築物などが建てられその土地にふさわしい利用がなされるべきと考えられる土地において、そのような利用がなされていない場合の土地のこと。

鉄軌道を含む新たな公共交通システム

県民及び観光客の移動利便性の向上、中南部都市圏の交通渋滞緩和、低炭素社会の実現、県土の均衡ある発展を支える「骨格性」、「速達性」、「定時性」等の機能を備えた大量輸送が可能な公共交通システムのこと。

デマンドバス [demand bus]

基本のバス路線以外に利用者がいる場合など、デマンド（需要）に応じてルートを迂回し、弾力的なサービスを行うバスのこと。

透水性舗装

雨水を路盤・路床に浸透、保水させる構造となっているもの。

特定用途制限地域

都市計画法に基づく地域地区の一種。用途地域が定められていない土地の区域（市街化調整区域を除く）内において、その良好な環境の形成または保持のため、地域の特性に応じて合理的な土地利用が行われるよう、制限すべき特定の建築物等の用途の概要を定める地域。

特別用途地区

都市計画法に基づく地域地区の一種。用途地域を補完するもので、特別の目的から特定の用途の利便の増進又は環境の保護等を図るために定める。地区の特性に応じて地方公共団体が定める条例により、基本となる用途地域の制限の強化又は緩和が可能。

特別緑地保全地区

都市計画法及び都市緑地法に基づく地域地区の一種で、都市の緑地等を保全するために指定する地区。

都市化社会

都市への人口や産業等の機能が集中し、それに伴い市街地が拡大していく社会。

都市型社会

市街地を拡大していくのではなく、産業、文化等の活動が都市の共有の場として展開する社会。

都市機能

文化、教育、保健・医療・福祉、商業、工業などのサービスを提供する機能や住居機能のこと。

都市計画区域

都市計画法第 5 条に基づき指定する、都市計画が定められる区域のこと。市町村の中心市街地を含み、かつ、自然的・社会的条件、人口・土地利用・交通量などの現況・推移を勘案し、一体の都市として総合的に整備、開発及び保全する必要がある区域を指定している。

都市計画区域の整備、開発及び保全の方針（都市計画区域マスタープラン）

都市計画法第 6 条の 2 に基づき、一体の都市として整備、開発及び保全すべき区域として定められる都市計画区域全域を対象として、一市町村を超える広域的観点から区域区分をはじめとした都市計画の基本的な方針であり県が定めるもの。

都市計画提案制度

住民等によるまちづくりの取組を都市計画に反映させる制度。土地所有者やまちづくり NPO 等が都市計画の決定又は変更について提案することができる都市計画法に基づく制度。住民等の主体的かつ積極的な都市計画への参画を可能とする仕組みの一つ。

都市公園等

都市公園法に基づいて供用する公園。都市計画決定された公園以外の公園も含む。

都市構造

人や産業が集中する拠点の位置と、主要な人や物の流れによって形成されるネットワーク等から捉えた都市の骨格のこと。

都市的土地利用

都市生活または都市活動を営む都市的な土地の使いみちのこと。

土砂災害のおそれのある区域

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づいて基礎調査を行い、土砂災害の恐れのある区域を指定・公示された区域のこと。

指定される区域は、「土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）」、「土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）」の2種類に分けられる。

トランジットモール [transit mall]

一般の自動車交通を排除し、バス・路面電車等の公共交通機関を配置することにより、歩行者の安全と交通手段の双方を確保したものをいう。

な行

日本経済活性化のフロントランナー

日本経済活性化の牽引役のこと。成長するアジアの玄関口に位置づけられるなど、大きな優位性と潜在力を有している沖縄について、国家戦略として、沖縄振興策を総合的、積極的に推進することが必要とされている。

ノーマライゼーション [normalization]

高齢者も若者も、障がい者も健常者も、すべて人間として普通（ノーマル）の生活を送るため、共に暮らし、共に生きていくような会社ことノーマルであるという考え方。

は行

パーク・アンド・ライド [park and ride]

都心部等での道路交通混雑を避けるため、都市の郊外部において自動車を駐車し、鉄道・バス等の公共交通機関へ乗り換える手法のこと。

パーントゥ

宮古島の島尻集落と野原集落に年中行事として現存している厄祓いと嘉例をつける来訪神祭祀。本来は、怪物・化け物を意味する方言だが、厄祓い上に転化している。

バイオ関連産業

生物学での研究成果など、いわゆるバイオテクノロジーを基盤として生産・経済活動を展開する産業のこと。

廃棄物

廃棄物処理法で定義されている用語では、産業廃棄物と一般廃棄物がある。産業廃棄物は、事業活動に伴って生じた廃棄物のうち、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチックなどの廃棄物を指す。

一般廃棄物は、事業所における事業活動に伴って発生する産業廃棄物以外の廃棄物（一般家庭から出るごみと同じ性状のもの）を指す。

ハザードマップ [hazard map]

洪水、土砂災害、津波等の自然災害に対して、被害が予測される区域および避難地・避難路等が記載されている地図。

ハシゴ道路ネットワーク

沖縄本島を南北方向に走る3本の幹線道路（国道58号、国道329号、沖縄自動車道）とそれを結ぶ東西方向の複数の幹線道路で構成されるはしご状の道路ネットワークのこと。

バスレーン

道路法に基づき、区間、時間を限ってバス専用又はバス優先として指定された車線のこと。

バリアフリー

高齢者、障がい者が社会参加するうえでの障壁（バリア）をなくす（フリー）こと。高齢者、障がい者の社会参加を困難にしている社会的、制度的、心理的な全ての障壁を除去するという意味でも用いられている。

万国津梁

「世界の架け橋」のこと。1458年に尚泰久(しょうたいきゅう)王の命で鑄造され、首里城正殿にかけられたと伝えられる「旧首里城正殿鐘」の銘文に「万国津梁」の文字がある。

ばんたがみゃーく

「私達の宮古」を意味する宮古地域の言葉。

ビックデータ [big data]

従来のデータベース管理システムなどでは記録や保管、解析が難しいような巨大なデータ群であり、日々膨大に生成・記録される時系列性・リアルタイム性のあるようなものを指す。

風致地区

都市計画法に基づき、都市の風致を維持するために定められる地域地区の一種。

ぶからす

「活気」、「楽しい」、「嬉しい」を意味する宮古地域の言葉。

ふくらしや

「豊か」を意味する八重山地域の言葉。

フリンジパーキング

都心部などにおいて、駐車施設をその地区の周辺に整備し、公共交通や歩行者道と直結することによって、交通の利便性を確保する方法。

ブルー・ツーリズム [blue tourism]

離島や沿海部の漁村に滞在し、魅力的で充実したマリンライフの体験を通じて、心と体をリフレッシュさせる体験型観光や余暇活動のこと。

プロムナード [promenade]

歩行者用の公共空間で、散歩、回遊することができる空間。

ヘルスツーリズム [health tourism]

すべての人々に対し、科学的根拠に基づく健康増進を理念に、旅をきっかけに健康増進・維持・回復・疾病予防に寄与するもの。

ポケットパーク [pocket park]

ベストのポケットほどの公園という意味で、わずかなスペースを利用して憩いの場や緑の空間を創出し、都市環境の改善を図るものである。

ま行

マイクログリッド [micro grid]

ある一定の需要地内で複数の自然変動電源や制御可能電源を組み合わせることで制御し、電力の安定供給を可能とする小規模な供給網。

マリーナ / フィッシャリーナ

[marina/fisharina]

防波堤等により確保した波静かな水域に、ヨット、ボートなどのいわゆるプレジャーボートの保管施設（桟橋など）を備えるとともに、陸上にはボートヤード、艇庫、修理工場、クラブハウス、駐車場等の施設を有する複合的施設をいう。

マルチモーダル [multi-modal]

効率的な輸送体系を確立し、良好な交通環境を創造する観点から、交通のみならず航空、海運、水運及び鉄道等複数の交通機関の連携を図る交通施策のこと。

みどり

樹林地、草地、農地、宅地内の緑（屋上緑化を含む。）、公園、街路樹や河川、水路、湖沼などを指す。

無電柱化

電線共同溝を整備し、電線類を地中に埋設する等の方法により、道路上から電柱を無くすこと。

モビリティ [mobility]

個人の空間移動の自由度を表し、交通計画・政策の指標を指す。モビリティ指標の例としては、交通手段選択の制約や移動における速達性や快適性や安全性、所要時間の信頼性等がある。

モビリティ・マネジメント

[mobility management]

一人ひとりのモビリティ（移動）が、社会にも個人にも望ましい方向に自発的に変化することを促す交通政策。過度な自動車利用を抑制し、公共交通機関の適切な利用を促す。

や行

ゆがふ

「五穀豊穡」、「この世の楽園」を意味する沖縄地方の言葉。

ユニバーサルツーリズム

[universal tourism]

高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行のこと。

ユニバーサルデザイン

[universal design]

障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインするという積極的な考え方のこと。

用途地域

都市計画法に基づく地域地区の一種で、目指すべき市街地像に応じて用途別に分類される 13 種類の都市計画の総称のこと。

ら行

ライフサイクルコスト

構造物の計画、設計から建設、維持・管理、解体撤去、廃棄にいたる費用のこと。

ラムサール条約

水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約。1971年にイランのラムサールで採択された。条約に加入した国では、渡り鳥等の多い水鳥の生息地として重要性の高い湿地を登録し、生態系お生息する動植物を保護するとともに、それらの賢明な利用を図ることが義務付けられる。

リーディング産業

国や地域の経済成長を牽引する産業のこと。

リサイクルポート（総合静脈物流拠点港）

[recycle port]

廃棄物の収集・処理を行って新たな資源として活用できるようにし、その資源を利用可能な施設へ効率的に輸送するための拠点となる港湾のことで、総合静脈物流拠点港ともいわれる。静脈物流（生産や消費活動で排出されたものの輸送）の拠点となる港湾のこと。

リスクシナリオ

起きてはならない最悪の事態のことで、リスクが発生した場合の影響、被害を項目別に整理したもの。

リダンダンシー [redundancy]

一定の機能を果たすための構成要素又は手段が付加されていることにより、一部が故障してもシステムは機能することをいう。

立地適正化計画

都市計画法を中心とした従来の土地利用の計画に加えて、居住機能や都市機能の誘導によりコンパクトシティ形成に向けた取組を推進するための計画。

緑地保全地域

都市計画法及び都市緑地法に基づく地域地区の一種で、都市整備との調和を図りつつ、比較的広域な見地から総体としての緑を維持保全するために指定する地域。

臨空・臨港型産業

那覇空港や那覇港等の物流機能を活用した、ものづくり産業、流通加工等を行う配送業、倉庫業、機械等修理業、コン包業、その他サービス業などのこと。

レスポンスブル・ツーリズム

[responsible tourism]

訪問地の自然や生態系に配慮し、その土地の慣習、マナー、地域住民の生活等を尊重した観光のこと。

わ行

ワーケーション

Work（仕事）と Vacation（休暇）を組み合わせた造語のこと。テレワーク等を活用し、リゾート地等普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うこと。

わいどー

「がんばろう」、「ともにがんばろう」を意味する宮古地域の言葉。